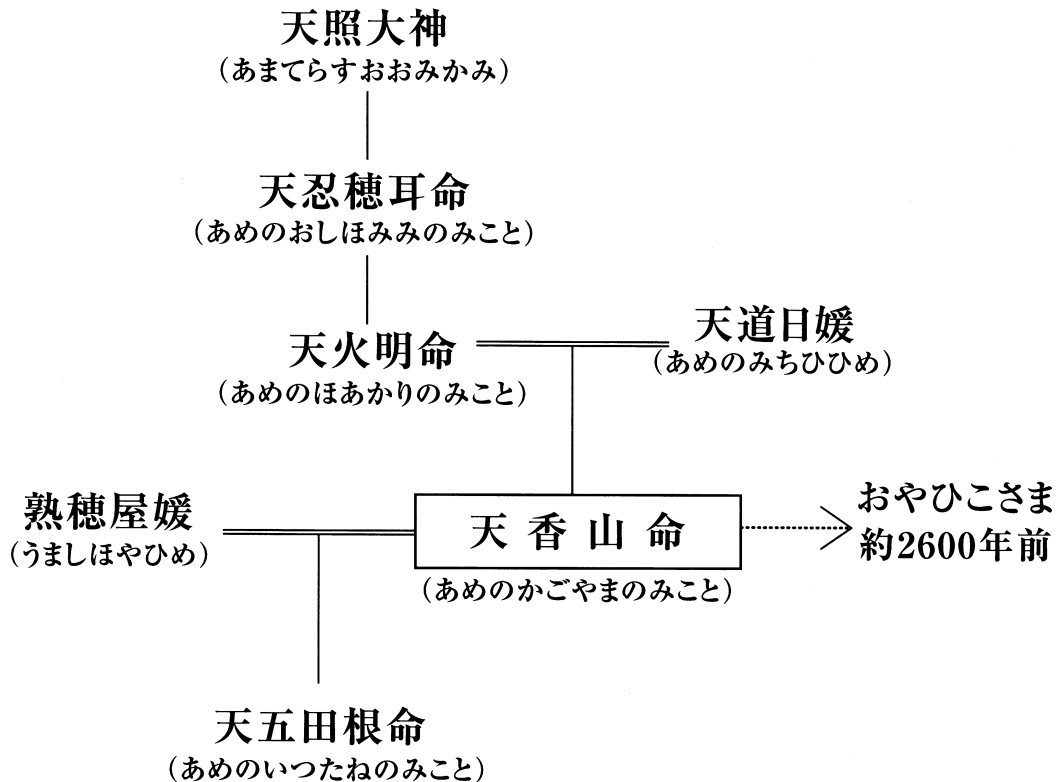


おやひこさま系図

《彌彦の大神さまは、天照さまの、ひ孫です》



おやひこさまは弥彦に下向される前は、紀伊半島の熊野にお住まいでした。和歌山県新宮市にある神倉神社(かんのくらじんじゃ)は、おやひこさまが当時、高倉下命(たかくらじのみこと)と呼ばれていた頃の社(やしろ)です。その後、神武天皇が東征(九州から大和に向かった)された折、高倉下命は紀伊から大和へご案内され、やがて大和の地に大和朝廷が成立したのです。橿原の宮で神武天皇が即位して4年ほど後に、高倉下命は天皇より高志(こし)〈越の国〉の国造りの命令を受けられました。高倉下命たち一行は現在の寺泊町野積海岸に上陸し、その後弥彦の地に居をかまえた命は、天香山命(あめのかごやまのみこと)と呼ばれ、越後の国の開拓に力を注がれたのです。野積浜には「弥彦神社御上陸地」と刻まれた高さ1メートルほどの石碑が建てられています。